

## 【 福 山 市 】

### 校務DX計画

#### 1. 「校務DXチェックリスト自己点検結果」における課題及び対応策

文部科学省による「GIGA スクール構想の下での校務 DX チェックリスト」(2023 年(令和 5 年) 9 月)では、押印が必要な書類があることや、児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡、保護者への調査・アンケート等について、クラウドサービスを十分に活用できていないこと等が課題として挙げられた。

##### (1)ペーパーレス化に向けた取組

2023 年(令和 5 年) 7 月に、学校管理規則や服務規程に定める様式の一部について、書類への押印を廃止した。

また、規則等に定めのない帳票及び教育委員会への報告等については、法令等により紙媒体によらなければならないものや紙媒体による運用がより効率的である場合を除き、2025 年度(令和 7 年度)から導入する統合型校務支援システム等を活用し、押印廃止及びペーパーレス化を図るとともに、継続して見直しを行っていく。

##### (2)校務支援システムの活用による校務の効率化に向けた取組

統合型校務支援システムの活用により、成績や出欠、健康診断、指導要録等の情報を、学校ごとの作成・管理から全校で統一したシステムへの入力・データ連携に、運用を見直す。

これにより、重複する入力作業や、学校から教育委員会への報告業務等を大幅に削減し、校務の効率化を図る。

##### (3)クラウドサービスを活用した校務 DX の推進

保護者との連絡手段については、2025 年度(令和 7 年度)に、学校と保護者間で双方向のやり取りができるクラウドサービスに更新することで、コミュニケーションの迅速化、利便性の向上を図る。

また、教職員がデータやスケジュールの情報共有等に使用しているクラウド型情報共有ツールについては、好事例の紹介や個別支援等により、情報共有や共同編集、チャット等の機能を、状況に応じてより効果的に活用できるよう取り組む。

#### 2. 次世代の校務 DX に向けた取り組み

次世代の校務 DX に向けた環境整備については、本市のシステムの更新時期を見極めながら、広島県や県内市町と連携し、共同調達・共同利用に向け検討を進める。